

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水產業費 項：水產業費 目：水產業振興費

事業名 清流長良川あゆパーク管理運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川・水産振興課里川振興係 電話番号：058-272-1111(内4219)

E-mail : c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費	22,219 千円	(前年度予算額：	20,524 千円)
債務負担行為額	103,000 千円	(令和5年度～令和9年度)	
債務負担行為額	1,700 千円	(令和8年度～令和9年度)	

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳								
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 収 入	産 入	寄附金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	20,524	0	0	590	90	0	0	0	0	19,844
要求額	22,219	0	0	590	90	0	0	0	0	21,539
決定額										

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

清流長良川あゆパーク指定管理料

(2) 事業内容

ア 指定管理者指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

イ 指定管理業務の内容

(ア) 施設管理業務

施設・設備の保守点検及び修繕、緑地帯管理及び清掃等

(イ) 漁業体験業務

漁業に関する体験学習事業の企画及び実施

(ウ) 資料展示業務

漁業及び世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関する資料の展示

(エ) 利用者サービス業務

イベント等案内、見学及び視察等の対応及び機械警備業務等

(オ) 利用促進業務

ホームページの作成・運用並びに施設案内パンフレットの作成及び配布

(カ) その他

利用者への遵守事項徹底、利用者等の意見把握及び利用状況等の集計等

(3) 県負担・補助率の考え方

施設の維持管理費及び運営費、企画事業費その他の管理業務関連支出の見込額合計から、事業収入その他の管理業務関連収入の見込額合計を差し引いて算出した額の2分の1の範囲内の額。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	22,219	指定管理料
合計	22,219	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）

第4章 基本方針ごとの重点施策と主な取組

<基本方針4> 安心できる農畜水産業と農村の環境整備

【重点施策】(5) 地域資源を生かした農村振興

<水産資源を含む里川システムの保全・活用・継承>

(2) 国・他県の状況

類似施設（神戸市立水産体験学習館）では、指定管理者制度による施設の管理運営が行われている。

(3) 後年度の財政負担

指定管理料が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設の管理運営に係るものであり、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

漁業に関する体験学習事業を、指定管理者の指定期間（令和5年度～令和9年度）中の各年度につき50回以上かつ延べ5,000人以上を対象に実施できるよう、県としての取組を行う。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①漁業体験学習事業実施回数	120回	99回	50回	50回	50回	198%
②漁業体験学習事業参加者数	5,529人	4,149人	5,000人	5,000人	5,000人	83%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	令和4年度指定管理業務 (R4.4.1～R5.3.31) ※令和4年度までの期間で基本協定締結 (内容) あゆパークの管理に関すること 漁業に関する体験学習事業を企画し、実施すること 漁業及び世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関する資料展示等 (成果) 来場者数 116,647人 体験利用者数 32,063人 ※自主事業(一般来場者) 含む
	令和5年度指定管理業務 (R5.4.1～R6.3.31) ※令和5年度～令和9年度までの期間で基本協定締結 (内容) あゆパークの管理に関すること 漁業に関する体験学習事業を企画し、実施すること 漁業及び世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関する資料展示等 (成果) 来場者数 147,808人 体験利用者数 38,647人 ※自主事業(一般来場者) 含む
令和6年度	令和6年度指定管理業務 (R6.4.1～R7.3.31) ※令和5年度～令和9年度までの期間で基本協定締結 (内容) あゆパークの管理に関すること 漁業に関する体験学習事業を企画し、実施すること 漁業及び世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関する資料展示等 (成果) 来場者数 199,418人 体験利用者数 44,539人 ※自主事業(一般来場者) 含む

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	アユ漁獲量並びに遊漁者数及び河川漁業協同組合員数の河川漁業に関する指標が悪化している中、多くの小中高生に川や魚に触れ合う機会や釣り教室等の場を提供し、遊漁者数及び漁協組合員数の増加を図ることが緊急の課題である。
-----------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	あゆパークで漁業体験をすることで、魚釣りに関心をもってもらうことができた。 [アンケート結果] 魚釣りをしたことがある・・・38% 漁業体験を通じて釣りをしてみたくなった・・・94%
-----------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

継続的な来場者及び体験利用者数の確保及び満足度の向上

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

来場者や体験活動利用者に対しアンケートを実施することで、あゆパーク利用者ニーズを把握し、実施内容や規模等について見直しを行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	